

2016 年 9 月 16 日

富士ゼロックス岩手本社が「日経ニューオフィス賞」 において「東北ニューオフィス推進賞」を受賞

「従業員の活力を最大化するための元気が出るオフィス」を目指して

富士ゼロックス岩手株式会社（本社：盛岡市、社長：畑仲 俊彦）本社オフィスが、第 29 回日経ニューオフィス賞(主催:日本経済新聞社/一般社団法人ニューオフィス推進協会(NOPA) 後援:経済産業省/日本商工会議所)において「東北ニューオフィス推進賞」&「東北経済産業局長賞」を受賞いたしました。

当社は、大手営業およびその他の営業、事務やセールスエンジニア、カスタマーエンジニアが主要拠点である本社と盛岡支店に分かれて入居していたため、各職種の協業や連携がスムーズではなく、営業ノウハウや事例の展開が進まずに業務効率も悪いという問題を抱えておりました。

そこで盛岡支店を本社に統合(2015 年 10 月実施)することで、職種を超えた協業活動の強化、全社員のスキルアップ、業務効率化を実践するため社員によるプロジェクトチームを編成し、お客様の「知識創造」を支援する富士ゼロックス株式会社価値創造コンサルティング部の意見も取り入れました。

基本コンセプトを「従業員の活力を最大化するための元気が出るオフィス」として、社員が目的に応じて働く場を選べる空間を散りばめることで自主性とコミュニケーションが活性化され、お客様の課題解決に向けてアイデアが生み出される空間、社員が気軽に相談や情報共有できる場を設け、アイデアや創造性が高められるようなオフィスを作りました。

全体的に社員の活動が見えやすいオープンな空間とし、営業とエンジニアはフリーアドレスで回遊性が高く自然と会話が生まれるレイアウトとしたほか、営業やエンジニアが知恵を寄せ合えるオープンミーティングの場(画像 1)や、緑を取り入れ曲線を描くソファによりリラックスした雰囲気落ち着いて仕事ができる場(画像 2)、アイデアを書きながら議論ができるハイテーブルコーナー(画像 3)、短時間で準備をして外出する作業に適した止まり木=ハイカウンター(画像 4)など、業務に応じて最適な働きができる場を配置しております。

当社はこのような環境の下、お客様の課題を解決する最適な提案を行えるよう、さらに全社一丸となって取り組んでまいります。

FUJIFILM GROUP



画像 1 オープンミーティング



画像 2 曲線を描くソファ



画像 3 ハイテーブルコーナー



画像 4 止まり木=ハイカウンター

■日経ニューオフィス賞について

ニューオフィス賞は、「ニューオフィス」づくりの普及・促進を図ることを目的とし、創意と工夫をこらしたオフィスを表彰する制度で、①ワーカーが快適かつ機能的で精神的にゆとりを感じるような生活の場となっている。また、②創造性を高める働き方を誘発する環境になっている③ITを活用した知的生産活動の場となっている④地球環境への影響や地域社会への貢献など社会性が配慮されている⑤FM手法を取り入れたオフィスづくりや維持管理のための体制が整備されている⑥知識資産や情報が適切に管理され運用されている、などが具体的な審査の視点となっています。

・ Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。